

社寺建築を中心とする全国の文化財保護に多大な貢献をしたとして、中島工務店（中津川市千旦林）の中島紀子社長(81)が文化庁長官表彰を受けた。16日に市役所の小栗仁志市長を訪問し、「社員たちの努力が認めてもらえて大変うれしい」と喜びを語った。

(小佐野慧太)

社寺建築の保護・修繕に貢献

中島工務店社長 文化庁長官表彰

中島さんは岐阜工業高校土木科 木工事が専門だったが、1988を卒業後、故郷の同市加子母で父 年の安弘見神社（同市蛭川）の建親と中島工務店を創設。当初は土 替え工事をきっかけとして寺社



表彰を報告し、今後の抱負を語る中島さん＝中津川市役所で

中津川から世界へ 活躍の場広げる

建築を手がけるように。現在も国の重要文化財の建長寺仏殿（神奈川県鎌倉市）や願興寺本堂（御嵩町）をはじめ、全国で複数の修復プロジェクトに取り組んでいる。昨年10月には本社を加子母から市中心部に近い千旦林地区に移した。

表彰式は昨年12月に京都市で開かれ、中島さんを含む80の個人・団体が表彰を受けた。市役所を訪れた中島さんは「加子母は国有林を抱えた材木の村。家づくり向けではない木曾ヒノキを使えないかとお寺や神社を始め、全国で修復をやらせてもらえるようになった」と振り返った。

同社は、和風建築の巨匠・堀口捨己（1895～1984年）＝本巢市出身＝が設計したブラジル・サンパウロの数寄屋造り建築「日本館」の修復に携わるなど、世界にも活躍の場を広げている。中島さんは「『中津川から世界へ』を合言葉に、これからさらに若い社員たちの血を沸き立たせていきたい」と力を込めた。